大阪人間科学大57点差16強

男子 第56回
女子 第55回
西日本学生バスケット
本社主催

第4日（31日、大阪府立体育会館ほか）

男子4回戦、女子3回戦が行われ、16強が出そろった。この日からシード校も登場し、激しい攻防が繰り広げられた。女子3回戦では、国際大会出場のため主力2選手を欠く大阪人間科学大が104―47で関学大に快勝した。1日は男子5回戦、女子4回戦が大阪市中央体育館で行われ、男女ともベスト8が決まる。

国際大会出場で主力2人欠場も 残りの選手が団結!!

【女子】▽3回戦
大阪人間科学大 104（21-28-20-35）47 関学大
（12-11-12-12）

3年ぶりの優勝を目指す大阪人間科学大の不安は早々に消えた。主軸2人を欠きながらも、開始約3分で17―0とリードすると、長渡監督はスタメンを総とっかえ。1年生6人を含む控え選手に経験を積ませながら、57点差で初戦を突破した。

韓国で開催中の「李相伯杯争奪・日韓学生大会」（5月30日～1日）にC佐藤とG田實が遠征しており、戦力ダウンを余儀なくされている。帰国は1日の夜中。「健康管理上、出場は難しい」（長渡監督）と、2日の準々決勝も欠場が濃厚だ。

一方で、留守を預かる選手の決意は固い。「2人がいないことがプラスになるように残ったみんなで力を出したい」とF畑中が言えば、「帰ってくるまで絶対負けない」とG平江。快勝の余韻に浸る間もなく、着替えを済ませると、早々と会場を後にした。大会中であろうと、夜間練習が待っているのだ。（奥村哲明）

第2Q、大阪人間科学大・玉井は相手ディフェンスのブロックをかわしてシュートを放つ＝大阪府立体育会館（撮影・田中太一）

監督不在も圧勝

＜男子・九産大▽監督不在という未知の経験も問題にせず、115点の大量得点で初戦を突破した。「無事に勝ててよかった」とPG千々岩主将は胸をなで下ろした。日韓杯に参加している元炳善監督とPF加納を欠きながらの戦いとなったが、好発進で不安を払しょく。「10年前に果たした連覇を目指して精一杯頑張る」と力強く話した。

【男子】▽4回戦

京産大	中京大	九産大	大阪人間科学大	立命館大	近大	関学大	天理大	浜松大	金沢工大	徳山大	九州国際大	関学大	鹿屋体大	同志社大
87	137	111	115	122	92	89	92	97	92	88	103	125	72	86
71	72	69	73	86	77	70	58	72	75	84	61	69	76	66

大阪学院大	中京大	鹿屋体大	福岡教大	大阪人間科学大	西南学院大	滋賀短大	新潟経営大	広島国際大	大阪女学院大	武庫川女子大	関西外国語大	立命館大	桜花学園大	信州大	愛知学泉大
101	103	92	66	89	122	78	80	58	80	88	87	119	93	98	
47	78	55	35	73	39	66	70	49	41	64	53	80	81	70	

【女子】▽3回戦

大阪学院大	中京大	福岡大	徳山大	中部学院大	短大	奈良文化女	甲南大	天理大	久留米工大	長野短大	大阪大谷大	龍谷大	愛知大	京都女子大	愛媛女短大
101	122	72	80	58	80	88	87	119	93	98					
47	78	53	55	73	39	66	70	49	41	64	53	80	81	70	

大阪人間科学大	愛知学院大	広島女学院大	中京大	甲南大	九州大	広島国際大	阪南大	福岡教育大	鹿屋体大	兵庫教育大	大阪学院大	島根大	龍谷大
大阪学院大	愛知学院大	広島女学院大	中京大	甲南大	九州大	広島国際大	阪南大	福岡教育大	鹿屋体大	兵庫教育大	大阪学院大	島根大	龍谷大